



UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS
International General Certificate of Secondary Education

www.PapaCambridge.com

FIRST LANGUAGE JAPANESE

0507/02

Paper 2 Reading and Directed Writing

May/June 2013

2 hours 15 minutes

Candidates answer on the enclosed Answer Booklet.

No Additional Materials are required.

READ THESE INSTRUCTIONS FIRST

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.

Write in dark blue or black pen.

Do not use staples, paper clips, highlighters, glue or correction fluid.

Answer **all** questions.

At the end of the examination, fasten all your work securely together.

The number of marks is given in brackets [] at the end of each question or part question.

* 4 6 0 9 3 9 0 1 1 6 *

受験生への諸注意

全ての提出物（解答用紙、その他）に、センター番号・受験番号・氏名を記入しなさい。

黒または濃い青色のペンを必ず使用すること。

ホッチキス（ステープラー）やペーパークリップ、蛍光ペン、のり、および修正ペンなどの使用禁止。

すべての問題に答えなさい。

試験終了時には全ての提出物をまとめ、必要によっては配布されたひもなどでくくりなさい。

配点は各設問の最後にある [] 内に示されています。

This document consists of **7** printed pages, **1** blank page and **1** inserted Answer Booklet.



パート1

次の【A】と【B】は、博物館展示品や文化遺産の扱いに関する新聞記事です。二つの文章を読んで、後の問1と問2に答えなさい。

【A】 科学と心情に折り合い

Content removed due to copyright restrictions.

【B】 国際ルールは不在 当事者間の交渉のみ

Content removed due to copyright restrictions.

問1 【A】 と 【B】 の新聞記事を読んで、それぞれに描かれた博物館展示品や文化遺産の扱われ方や考え方や行動について主要な点を要約し、共通点や相違点を踏まえながら、500字程度でまとめてください。その際、記事から表現を直接抜き出すのではなく、なるべく自分の言葉を使って書きなさい。

[20]

問2 【A】 もしくは 【B】 に登場する関係者を一人選び、その人に対して300 字程度で手紙を書きなさい。その際、新聞記事の感想や実例なども添えて、文化遺産等の博物館展示に関するあなたの考えを説得力のある文章で書きなさい。また、宛名を明記し、「前略」、「草々」などの挨拶表現を含む手紙らしい形式を用いなさい。

[20]

パート2

問 次の 3~7 の空欄 () に下のア~エの中から正しい答えを一つ選んで、記号で答えなさい。

3 たとえ () 勉強が厳しくても頑張るぞ。

- | | | | |
|---|------|---|------|
| ア | こんなに | イ | どんなに |
| ウ | あんなに | エ | そんなに |

[1]

4 まだ幼稚園児の妹は、小学三年生の姉と同じような服を着 () ます。

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| ア | あがり | イ | さがり |
| ウ | すがり | エ | たがり |

[1]

5 遠くから () くださってありがとうございます。

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| ア | お通し | イ | ご出身 |
| ウ | お越し | エ | ご進出 |

[1]

6 おとなしそうに見えるけど、あなた () 意外と気が強いんですね。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ア | に | イ | が |
| ウ | も | エ | の |

[1]

7 誰かに名前を () 振り返ると、山田君が両手を高く挙げて振っていた。

- | | | | |
|---|------|---|------|
| ア | 呼ばせて | イ | 呼ばれて |
| ウ | 呼べて | エ | 呼んで |

[1]

問 次の 13~17 の下線で示されたそれぞれの言葉と同じ意味を持つ表現を一つ、各文に
まる文法の形で書きなさい。(例：これで安全だ→無事)

13 この大きな城をわずか十五年で建てたとは、驚きだ。

14 臨時委員会では、環境問題について協議した。

15 あの学校は、開放的な校風で知られている。

16 私は、日本の歴史についてうといから、もう少し勉強しようと思う。

17 北の国にも、まもなく春が訪れる。

[5]

問 次の 18~22 の下線の単語の品詞名を下から選んで記号で答えなさい。

兄は、来月¹⁸から東京大学の学生だ。¹⁹しかし、²⁰まだ都内に²¹手頃なアパートを²²見つけていない。

ア 形容動詞	イ 副詞	ウ 助詞	エ 接続詞
オ 助動詞	カ 代名詞	キ 形容詞	ク 名詞
ケ 連体詞	コ 動詞	サ 感動詞	シ 数詞

[5]

Copyright Acknowledgements:

Part 1 Passage A © Yu Miyachi; *To Whom Do Cultural Properties Belong?*; The Asahi Shimbun Globe; 5 June 2011.
Part 1 Passage B © Eiichi Miyashiro; *To Whom Do Cultural Properties Belong?*; The Asahi Shimbun Globe; 5 June 2011.

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

University of Cambridge International Examinations is part of the Cambridge Assessment Group. Cambridge Assessment is the brand name of University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which is itself a department of the University of Cambridge.

© UCLES 2013